

福祉用具を用いた介助作業における介護者および要介護者の体格差と腰部負担の関係

【研究内容】

業務上腰痛は、業務上疾病の約 6 割を占めており、特に介護労働者において増加している。この対策として、人力で持ち上げないことや移乗用福祉用具を用いたノーリフトケアが有用であるが、福祉用具の統一された使用方法は確立されていない。

本研究では、アンケート調査および実験の実施により、移乗用福祉用具の使用において、介護労働者と要介護者の体格差が介護者の腰部負担に及ぼす影響を明らかにし、移乗用福祉用具を用いた移乗・移動介助における体格差の判断基準を提案する。

